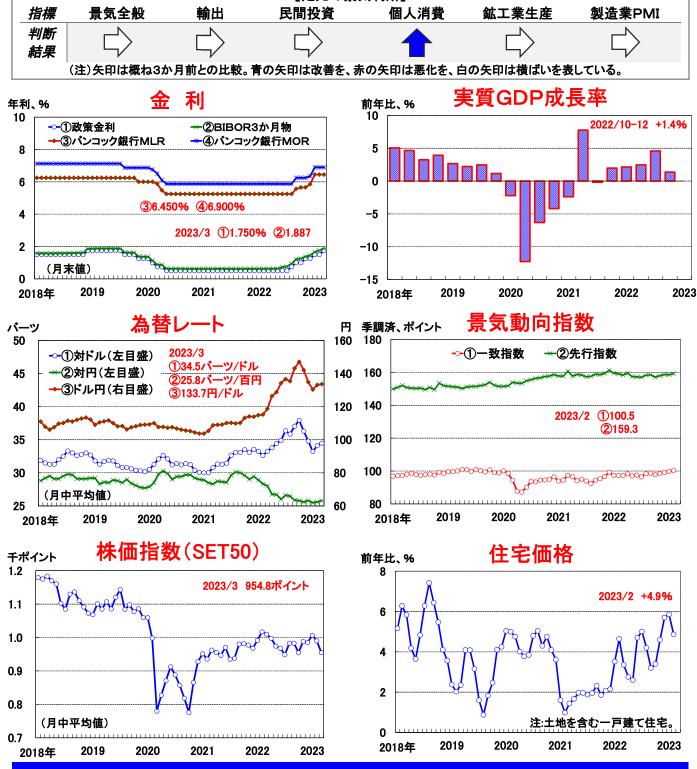
## グラフで見るタイ経済 2023 年4月号(No. 166)

タイの景気は底堅く推移している。まず、2月の個人消費指数は4か月連続で上昇した。内訳をみると、海外観光客の入国増加を背景に非居住者消費が大きく改善している。また、同月は鉱工業生産に底入れの動きが現れ、民間投資指数も2か月連続で改善した。続く3月の製造業PMI(中立水準は50)は53. 1と若干低下したものの、高めの水準を維持している。このように景気の底堅さが確認される中、タイ中央銀行はインフレ抑制を優先し、3月29日に5会合連続となる政策金利の引き上げを実施した(1.50%→1.75%)。

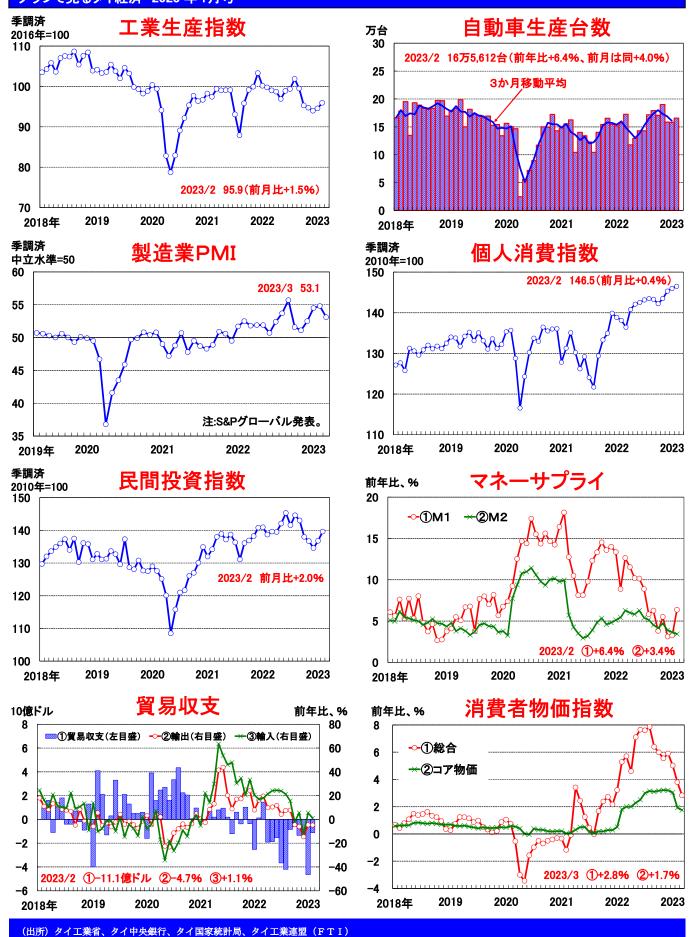
【足元の景気判断】



(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

## グラフで見るタイ経済 2023 年4月号



本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。